

福森道華 『ジャズ・ピアニスト』

Website:

<https://michikafukumori.wixsite.com/mysite>

Musician Page: <https://www.facebook.com/michikafukumorijazz/>

三重県伊賀市出身。愛知県立芸術大学音楽学部作曲科を卒業後、鈴木コルゲン宏昌氏にジャズ・ピアノを師事する。8年間日本で活動した後、2000年に渡米。ニューヨーク市立大学大学院音楽学部ジャズ科に2000年9月に入学し、Ron Carter, Geri Allen に学ぶ。ジャズピアノ界の巨匠 Steve Kuhn には2001年から現在まで師事。卒業後、NYでの演奏活動を本格的に開始。

2004、2005、2010、2013、2017年に自己のトリオで Blue Note New York に出演。2004年、Steve Kuhn をプロデューサーに迎え、David Fink(b), Billy Drummond(ds)と共演したファーストリーダーアルバム "Infinite Thoughts" をリリース。2016年6月にアメリカの老舗ジャズレーベル SUMMIT RECORDS から、同じく Steve Kuhn 監修のセカンドアルバム "QUALITY TIME" (Aidan O'Donnell (b) Billy Drummond(d)) を全世界で発売。発売記念コンサートをNYの誇れる Jazz Club である Jazz at Kitano (2016年11月) と Blue Note(2017年1月)で行い、成功を収める。またこのアルバムは2016年グラミー賞にエントリーされ、全米 Jazz ラジオチャートの JazzWeek に数週間ランクインし、33位にチャートインを果たす。

2018年6月には3枚目のアルバムで初のソロピアノアルバム "Piano Images" を SUMMIT RECORDS から発売。前2作同様に Steve Kuhn のプロデュースで、Kuhn が評価している8曲の彼女のオリジナル曲がこのアルバムの聴き所であり、その自作曲の中から "Into The New World" が Kuhn の最新アルバム "To And From The Heart" (Sunnyside Records) にも収録された。Piano Images は、2018年グラミー賞の数部門にエントリーされ、各方面より高評価を得ると共に、2018年アメリカのジャズラジオ局 KMUW、"Night Train" の "Best Album 2018" 及び2018年8月、12月の Best 40 に選出されている。

ヴォーカリストの伴奏者として定評もあり、Carol Fredette(vo)のヴォーカルワークショップの伴奏を2002年より務めている他、多くの歌手の伴奏者としても活躍中である。現在は Artruro's, Antique Garge 等に定期的に出演。有名ジャズスポットである Jazz at Kitano にはソロピアノ、トリオでの出演を重ねている。NYを拠点に精力的に活動を続けており、確かな実力を評価されている。

現在、最も忙しいNYのピアニストの一人と言われている。

“軽やかで、かつ確かなテクニックでの演奏…繊細で思慮深いピアノの小旅行である”

(アルバム Piano Images への批評：ロバート ルッシュ (ケーデンス マガジン))

温かくリズムカルで、とても魅力的なジャズピアノ演奏である

(ジャズ モーストリー)

“彼女の音楽は、より個性的で、喜びに満たされた印象派のアプローチだ”

(アルバム Piano Images への批評：エリオット サイモン(ニューヨーク シティ ジャズ レコード))

“福森道華は非常に才能のあるミュージシャンです。

彼女の音楽は、あなたが注目して耳を傾けて聴くに値します”

スティーブ キューン (ジャズ ピアニスト)